

研究会報告

「秩序形成の初期過程におけるスケーリング則と非平衡熱力学」研究会報告

この研究会は科研費総合(A)(代表者 川崎恭治)「強い相関をもつゆらぎの統計物理学」の研究の一部として、昭和59年度10月13日から15日まで箱根強羅の静雲荘(共済)で開催されたものである。サブグループの世話人となった私の責任の下に、以下のプログラムに示すような小人数のワーキング・グループ的な会になった。理論、実験の両面から、現状分析と活発な討論が行なわれ、実り多い会となった。また、それぞれに異なる分野の互いに面識のない研究者が互いに知り合う機会が出来、しかも、お互いに本質的に同じ研究をしていた事実も判明した例もあり、大変有意義な会であったという感想が世話人に寄せられている。

この研究会には、その他、助手の宮下精二、院生の池上高志、香取真理、劉勇の諸君も手伝いをかねて参加した。

昭和59年12月

世話人 鈴木増雄

プログラム

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1. 秩序形成の理論(ミクロとマクロ) | 東大・理 鈴木増雄 |
| 2. 生物物理からの話題 | 阪大・基礎工 三井利夫 |
| 3. 化学反応と拡散 | 自治医科大・物理 青野修 |
| 4. 開放系における空間秩序構造の形成 | 東工大・理 川久保達之 |
| 5. 液晶での巨視的秩序形成過程における揺動の挙動とその分布 | 九工大 甲斐昌一 |
| 6. 一次構造相転移の秩序形成過程とスケーリング則 | 阪大・基礎工、BNL
浜谷望、山田安定、J.D. Axe |
| 7. 宇宙の大域的構造の形成と真空の相転移 | 東大・理 佐藤勝彦 |
| 8. 秩序形成の熱力学 | 東邦大・薬 高山光男 |
| 9. On the Non-equilibrium Thermodynamics | 東工大・理 北原和夫 |
| 10. 合金相分離過程におけるゆらぎと秩序形成 | 東北大・理 古坂道弘 |
| 11. 流体中のクラスターの成長における慣性の効果 | 山口大・教育 古川浩 |
| 12. 相分離過程における構造関数の相似形 | 京大・教養 富田博之 |